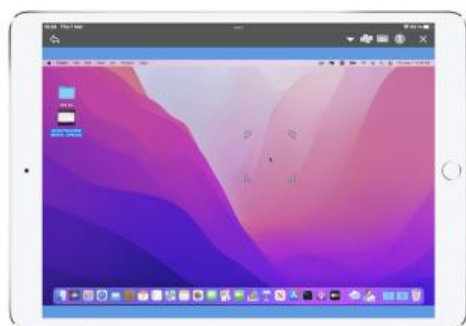


リモートサポート&管理

PC・サーバー・Mac・タブレット・スマートフォン・組み込み端末
Windows・macOS・Android・iOS・CE

WiseMo ゲストモジュール お使いの iPhone / iPad で



WiseMo ホストモジュール お使いのリモートコンピューターまたは端末で



WiseMo は、PC やサーバー、Mac コンピューター、スマートフォン、タブレット端末、その他の携帯型／無人端末間など、コンピューターや端末間の遠隔操作を可能にするソフトウェアを開発しています。WiseMo のソフトウェアを使用すれば、業務効率を大幅に向上させる強力な遠隔制御・管理機能を利用でき、時間とコストの節約が可能です。

ゲストモジュール&ホストモジュール

WiseMo のゲストモジュールは、遠隔操作を行いたい他のコンピューターや端末にアクセスするためのコンピューターまたは端末上で動作します。

WiseMo のホストモジュールは、認証されたユーザーがゲストモジュールを使用して安全にアクセスできるよう、コンピューターや端末上で動作します。

クラウドベースまたはオンプレミス接続：

ゲストモジュールとホストモジュール間の接続は、以下のいずれかの方法で確立されます：**WiseMo の myCloud ソリューション**（インターネットを経由）、または**LAN/WAN ネットワーク**を直接利用した**TCP/IP**接続です。

クラウド接続の場合（WiseMo myCloud）ご利用のコンピューターまたは端末がインターネットにアクセス可能である必要があります。具体的には、固定回線、Wi-Fi、または携帯電話事業者のネットワーク（3G、4G、5G）経由での接続が可能です。これにより、ゲストコンピューター/端末とホストコンピューター/端末の両方でインターネットに接続できる環境であれば、場所を問わず任意のコンピューターや端末にアクセスできるようになります。

オンプレミス環境で LAN（Wi-Fi または有線）または WAN 経由で TCP/IP を使用する場合、インターネットトラフィックを回避できるほか、携帯電話事業者からのデータ通信料金が発生する可能性もなくなります。ただし、ゲストモジュールからホストモジュールへの通信を可能にするため、ファイアウォールの設定を適切に管理する必要があります。

iOS 用ゲストアプリ（iPhone および iPad 用）

本ガイドでは、インストール、設定、使用方法、および iOS ゲストアプリのアンインストール方法について説明します - これは iPad および iPhone 端末で使用可能なリモートデスクトップ用ゲストモジュールで、WiseMo ホストモジュールを実行するコンピューターや端末を遠隔操作するための効率的なソリューションです。

注意：このゲストガイドでは、少なくとも 1 つの WiseMo ホストモジュールがコンピューターまたは端末にインストールされており、myCloud 接続経由または TCP/IP 直接接続のいずれかでアクセス可能な状態であること



WiseMo は、PC やサーバー、Mac、スマートフォン、タブレット、その他の携帯型／無人端末間で使用する、クラウドベースおよびオンプレミスベースの遠隔操作ソフトウェアを開発しています。当社のクロスプラットフォームソリューションは、商業・産業用途のリモートサポートおよび管理（RSM）市場を対象としています。

詳細については <https://its.tos.co.jp/products/wisemo/> をご覧ください。

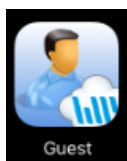
とを前提としています。ホストモジュールのセットアップ方法については、当該モジュールのチュートリアルを参照してください。利用可能なドキュメントはこちらから確認できます：

<https://its.tos.co.jp/support/download/wisemo/>

1. iOS 用ゲストアプリのインストール

このアプリを iPhone または iPad にインストールすることで、PC、サーバー、Mac コンピューター、スマートフォン、タブレット端末、あるいはその他の携帯型または無人端末を遠隔操作できるようになります。このアプリを使用するには、iOS バージョン 9.0 以降が必要です。

App Store からアプリをダウンロードしてください：



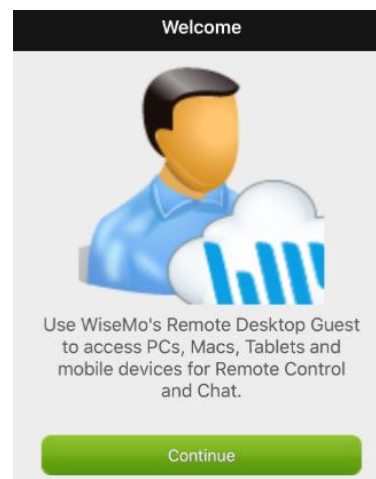
ダウンロード後、App Store から直接開くか、端末上でゲストアイコンを探してアプリを起動してください。

2. スタートアップウィザード

初めてアプリを起動すると、スタートアップウィザードが表示されます。このウィザードでは、myCloud を使用したインターネット経由の簡単な接続方法について説明します。すでに myCloud ドメインにアクセス権をお持ちの場合は、特定の myCloud ドメインを事前に設定することが可能です。また、インターネット経由での簡単な接続を試してみたい場合には、トライアル用の myCloud ドメインを作成するためのリンクも提供されます。

もし最初にローカルネットワーク上でゲスト機能のみを使用したい場合は、「続行」ボタンを押せばゲストのユーザーインターフェースに移動します。その後、ユーザーインターフェースから直接 myCloud ドメインに簡単にログオンするか、ウィザードを再度実行して設定を行うことも可能です。

設定オプションは「オプション」タブで確認できます。このタブでは、リモートコンピューターや端末に接続する際に使用されるデフォルトの接続プロパティを定義します。特定のコンピューターや端末に対する個別の接続プロパティは、「電話帳」タブまたは「myCloud」タブから設定できます。



3. 「ゲスト」アプリの使用方法

少なくとも 1 つの WiseMo ホストモジュールがコンピューターまたは端末上で動作していることを前提としています。これにより、リモートデスクトップ制御セッションを正常に開始する準備が整います。

「ゲスト」アプリはタブ形式で構成されており、画面下部に表示されます：



iPad ではタブが分割表示レイアウトを採用していますが、iPhone の場合は詳細ビューを表示するため項目をタップする必要がある場合があります。

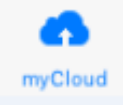


一般的に、1 段階下の階層にいる場合、左上隅の「戻る」ボタンをタップすることで 1 段階上の階層に戻ることができます。

「戻る」ボタンが表示されていない状態が、最上位階層にいる場合です。

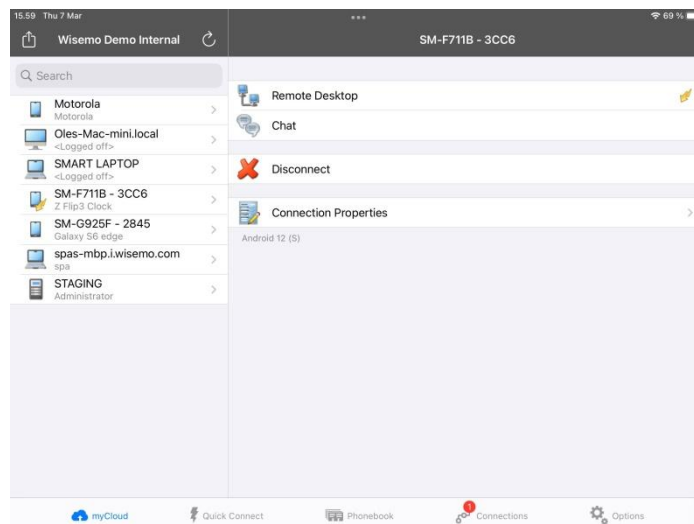
以下の各タブについて詳しく説明します。TCP/IP 経由で初めてリモートコントロール接続を行いたい場合（例えば同じローカル Wi-Fi や LAN に接続されている別のコンピューターや端末に接続する場合など）は、3.2 節の「簡易接続」タブに直接進んでください。

3.1 「myCloud」タブ

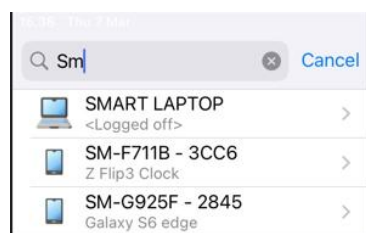
すでに myCloud ドメインにログインしている場合 myCloud 対応ホストコンピューターや端末の一覧が表示されます。

このタブから、アクセスしたいコンピューターや端末を選択して接続できます。リモートコントロール（リモートデスクトップ）を開始するか、チャットセッションを開始するかを選択できます。

（注意：myCloud タブにホスト一覧を表示するには、myCloud ドメインで少なくとも 1 つのホストモジュールを有効にしておく必要があります）



コンピューターや端末に接続している場合、リスト上に接続状態が表示されます。Windows および Mac コンピューターの場合は、そのコンピューターが利用可能かどうか（ログオフ状態かどうか）も確認できます。特定のコンピューターや端末を選択すると、実行されているオペレーティングシステムを確認できます。



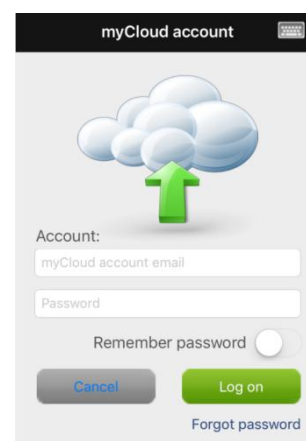
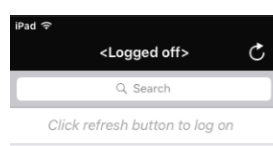
検索フィールドに注目してください。オンライン状態のコンピューターおよび端末の一覧には、検索フィールドに入力した内容に一致する項目のみが表示されます。これは、ドメインで多数のホストを有効化している場合に特に便利な機能です。この例では、「sm」という文字列を含むすべてのエントリが表示されています。

接続を行う際、接続に使用する設定はホストごとに定義された接続プロパティに従います。初期設定は「オプション」タブで設定した内容ですが、ホストごとに設定を変更することも可能です。接続プロパティでは、ログイン資格情報の自動入力、リモートデスクトップ画面の表示方法（全画面表示／実際のサイズ）の選択など、多くのオプションをカスタマイズできます。

オンライン状態の myCloud 対応コンピューターおよび端末の一覧は自動更新されます。わずかな遅延を伴いながら、コンピューターや端末がドメインに参加する際、または mycloud がホストのドメイン離脱やステータス変更を検知した際に更新されます。ホスト一覧は手動で更新することも可能です - 一覧表示画面の右上にある更新ボタンを押せば更新されます。

もし既にログイン済みの場合は、左上にあるログオフボタンを使用してドメインから離脱してください。例えば、別のドメインにログインしたい場合などに便利です。

まだログインしていない場合、右上にある更新ボタンを押してください。これによりログイン画面が表示されます。



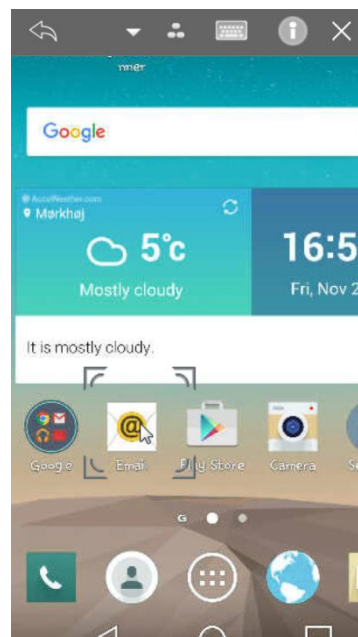
myCloud ユーザーアカウントの資格情報を入力してログインします。これはメールアドレスとパスワードであり、myCloud ユーザーアカウントが二要素認証（2FA）で保護されている場合は、検証コードの入力も必要になります。

本プログラムは資格情報を記憶する機能を備えているため、ゲストアプリを起動するたびに資格情報を再入力する必要はありません。ログイン時に「パスワードを記憶する」スイッチを使用してこの機能を制御してください。myCloud アカウントが二要素認証（2FA）で保護されている場合、ログインのたびに検証コードの入力が必要となります。手動でログオフボタンを使用した場合、次回ログイン時には再度資格情報を入力する必要があります。

使用例：iPhone から Android 端末をリモート操作する場合。
Android 端末の画面が iPhone 端末に表示されます。



全画面表示



2本の指でピンチしてズーム

詳細については 4「ホストコンピューターまたは端末のリモートコントロール」を参照してください。利用可能なオプションについての情報が記載されています。

3.2 「簡易接続」タブ



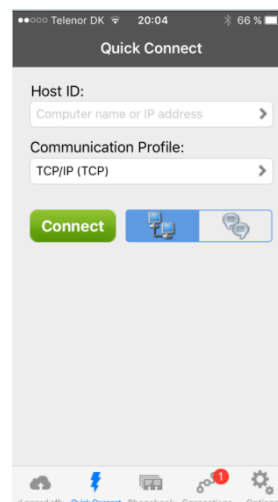
このタブを使用して、WiseMo ホストモジュールが動作しているコンピューターまたは端末に TCP/IP 経由で接続します。接続先のホストの IP アドレス（または DNS 名）を把握している必要があります。TCP/IP 通信で到達可能でなければなりません。例えば、両方が同じ LAN または Wi-Fi ネットワーク上にある場合などです。

アドレスを入力し、接続ボタンをクリックするだけです。通信プロファイルとして TCP/IP が選択されていることを確認してください。

リモートデスクトップセッションとチャットセッションのいずれかを選択できます：



接続時には、「オプション」タブで定義されたデフォルトの接続設定が使用されます。「電話帳」タブを使用すれば、個別の接続設定を定義して保存することも可能です。接続設定では、ログオン資格情報の自動入力や、リモートデスクトップ画面の表示方法（全画面／実際のサイズ）など、多くのオプションをカスタマイズできます。

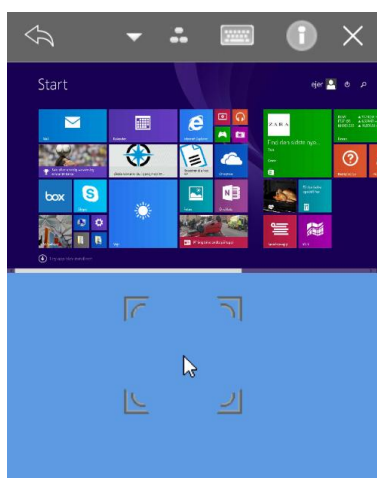


注意：デフォルトでは、このプログラムはポート 1970 を使用します。対象コンピューターの「ホスト」モジュールが別のポートで待機するように設定されている場合、「ホスト ID」フィールドに IP アドレスの後にそのポート番号を指定できます。例えば：10.204.1.3:1975 のように指定します（1975 がポート番号です）。

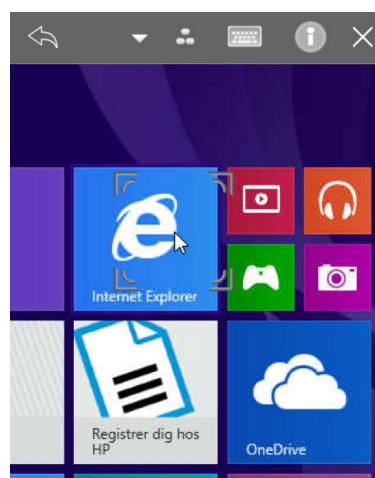
リンクの共有と招待リンクについて

特定のホストから送信された招待リンク（または myCloud ウェブインターフェースからの共有リンク）を受け取った場合、そのリンクを「ホスト ID」欄に貼り付けて「接続」ボタンを押すことで、ゲストユーザーはそのリンクが作成されたホストに myCloud 経由で接続できます - この際、あなたがその myCloud ドメインにログインしている必要はありません（お使いのコンピューターはインターネットに接続されている必要があります）。

使用例：iPhone から Windows 10 PC へのリモートデスクトップ操作



全画面表示



2本の指でピンチしてズーム

詳細については [4「ホストコンピューターまたは端末のリモートコントロール」](#) を参照してください。リモートデスクトップ操作セッション中に利用可能な各種オプションに関する情報が記載されています。

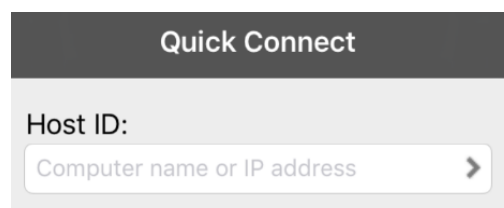
簡易接続履歴

使用されたアドレスは簡易接続履歴リストに保存されるため、以前に接続したホストに再接続する際に便利です。簡易接続履歴リストにアクセスするには、「>」ボタンを選択してください：



使用したいアドレスをクリックすると、簡易接続画面に戻ります。また、「追加」ボタンを使用してこのホストを電話帳に登録することも可能です：

Add to phonebook



3.3 「電話帳」タブ

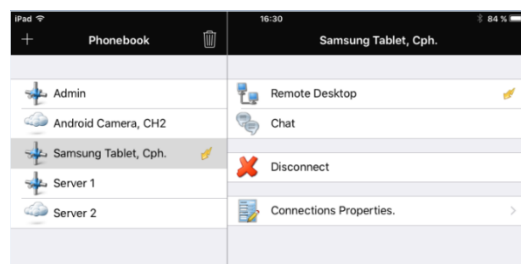


Phonebook

電話帳タブからは、事前に定義されたアドレスと接続プロパティを持つホストエントリを作成できます。

リストからホストを選択し、「リモートデスクトップ」または「チャット」をクリックして接続します。

電話帳リストでは、現在接続中のホストを確認できます。ホストを選択し、セッションタイプ（リモートデスクトップとチャット）を切り替えるか、接続を切断することができます。



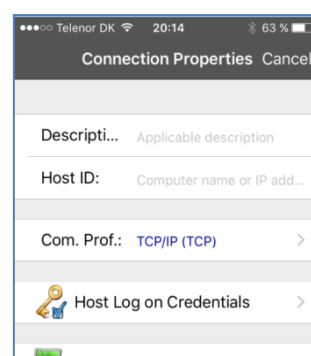
左上にある「+」ボタンをクリックすると、電話帳に新しいホストエントリを追加できます。

電話帳に登録されている各ホストには、個別に接続設定を定義できます。これにより、最適な接続環境を実現するための最適な設定をカスタマイズ可能です。

最低限、説明とホスト ID の入力が必要です。ホスト ID は、遠隔地のホストコンピューターの IP アドレス、または DNS 名のいずれかを指定します。その他の設定項目はすべて、オプションタブで定義されているデフォルト設定です（ホストエントリ作成時の設定）。ホストエントリの設定は現在または後で変更することが可能で、この特定のホストへの接続に関するご自身の好みに合わせて調整できます。



新規エントリを保存するには、詳細表示画面の左上にある「戻る」ボタンを押してください。



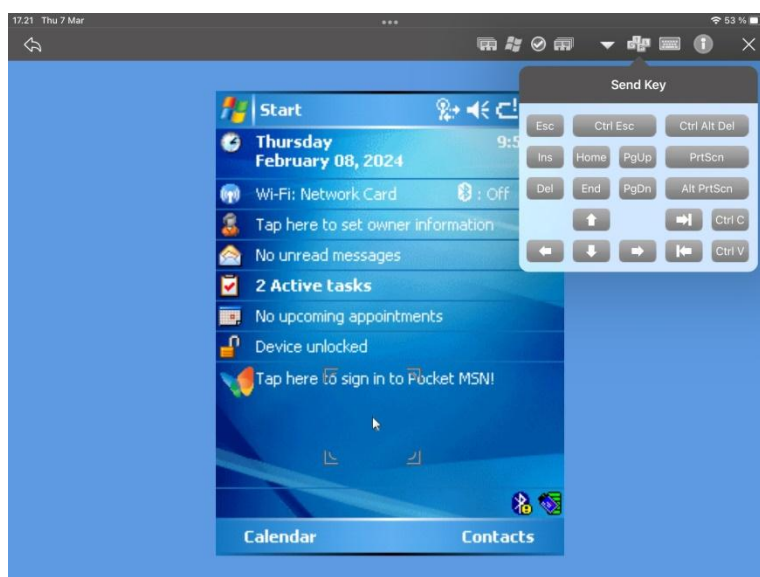
電話帳のホストエントリを削除するには、まず右上の「ゴミ箱」ボタンをタップし、次に削除したいホストエントリの前にある赤いボタンをタップした後、「削除」ボタンをタップして確定します。電話帳エントリの削除が完了したら、「完了」ボタンをタップしてください。また、電話帳エントリを左にスワイプすることでも削除できます。

端末の種類や画面の向き（横向き/縦向き）によって、表示される画面が異なる場合がありますのでご注意ください。

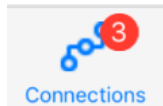
例：ゲストモジュールから iPad で Windows CE 端末をリモートデスクトップ操作する場合

ホストコンピューターに特殊なキー操作を送信するためのドロップダウン画面です。

画面上部の特殊ボタンツールバー（Windows Mobile/CE 端末制御用）は、画面が狭い場合にはこのドロップダウン画面に表示されます。



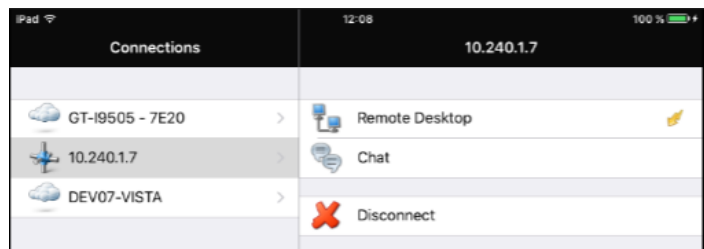
3.4 「接続」タブ



「接続」タブには、myCloud タブ、簡易接続タブ、または電話帳タブのいずれかから確立された接続かどうかにかかわらず、現在すべての接続が一覧表示されます。

「接続」タブからは、既に接続されているホストコンピューターや端末間を切り替えることができます。

例えば、リモートデスクトップ接続などで既に接続されているホストに対して、チャットセッションを開始したり、その逆も可能です。



「接続」タブからは、ホストの切断も行うことができます。

「接続」タブの名称には現在の接続数が含まれているため、簡単に接続状態を確認することができます。

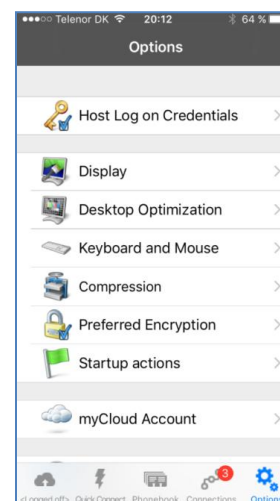
3.5 「オプション」タブ



「オプション」タブでは、リモートコンピューターや端末に接続する際に使用するデフォルトの接続設定を変更できます。このタブでは、その他のさまざまな設定項目や情報も確認可能です。

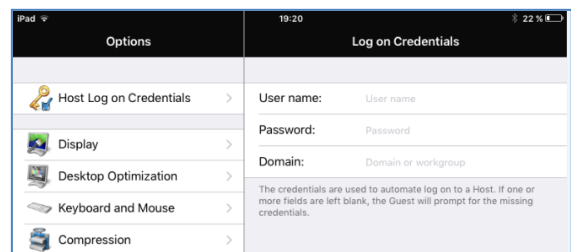
3.5.1 接続プロパティ

ここで設定した接続プロパティは、簡易接続タブからリモートホストコンピューターまたは端末に接続する際に適用されます。これらのプロパティは、電話帳に新規エントリを追加する際のデフォルト設定としても使用されます。また、myCloud ドメイン内に登録された各ホストに対してもデフォルト設定として適用されます。各設定項目の詳細については以下に説明します。



3.5.1.1 ホストログオン資格情報

ホストが myCloud デバイスアクセス制御 (mDAC) を使用していない場合、これらの事前に定義された資格情報がゲストアクセスの認証のためにホストに送信されます。ユーザー名、パスワード、Windows ドメインまたはワークグループなどの資格情報は、ホスト側で定義された認証方法に応じて使用されます。資格情報が間違っているか欠落している場合、ゲストはホストに接続する際に不足している資格情報の入力を求められます。ホストが二要素認証 (2FA) で保護されている場合は、検証コードの入力も求められます。

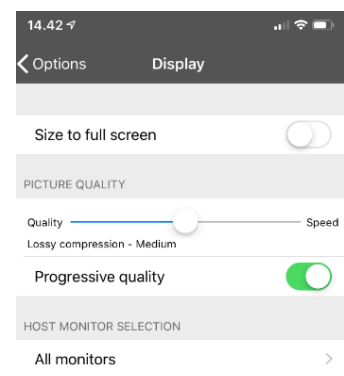


3.5.1.2 表示

全画面表示サイズ:

このチェックボックスをオンにすると、ゲストは最初にホストのデスクトップ全体を表示するようになります。接続中は、サイズを拡大表示してデスクトップの一部のみを詳細に表示することも可能です。

このチェックボックスをオフにすると、ゲストは最初にリモートデスクトップを実際のサイズで表示します。通常は画面の一部のみが表示されます。接続中は、簡単に画面をスクロールさせてデスクトップ全体を確認するか、縮小表示して画面全体を表示することができます。



画像品質:

画像品質設定を調整することで、パフォーマンスを最適化できます。

「スライダー」

画面表示の画質と画面転送速度の優先度を設定します。スライダーで圧縮方式とレベルを調整します。中央位置がデフォルト設定で、プログレッシブ品質との組み合わせに最適です。

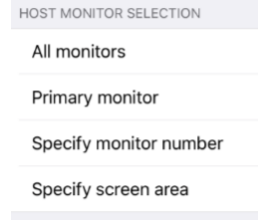
プログレッシブ品質切り替え機能

3種類の非可逆圧縮方式のいずれかを選択している場合、アイドル時間を利用して画質を最高レベルまで向上させます。

ホストモニター選択:

ホストコンピューターに複数のモニターが接続されている場合、接続時に表示したいモニターを事前に選択できます。注意: 複数モニター搭載のホストコンピューターに接続中であっても、オンラインでモニターを切り替えることが可能です。

接続時に表示したい画面の特定領域を指定することが可能です。



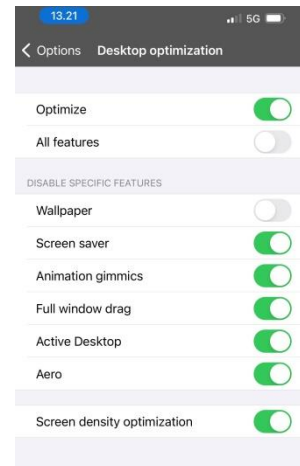
3.5.1.3 デスクトップ最適化

これらの設定は、接続時に遠隔地のコンピューターの画面表示をどのように最適化するかを決定し、可能な限り最適なパフォーマンスを実現します。

最適化: 最適化処理を実行するかどうかを定義します。
すべての機能: このチェックボックスをオンにすると、利用可能なすべての最適化機能が使用されます。

使用しない特定の最適化機能は無効にすることができます。
利用可能な機能は以下の通りです:

壁紙:	遠隔地の画面に表示される壁紙を削除します。
スクリーンセーバー:	スクリーンセーバーを無効にします。
アニメーション:	遠隔デスクトップが通常使用する様々なアニメーション効果を無効にします。
フルウィンドウドラッグ:	ウィンドウをドラッグする際、表示されるのは枠のみで、ウィンドウの内容は表示されません。
アクティブデスクトップ:	古い Windows PC で使用されているアクティブデスクトップ機能を無効にします。
Aero:	Aero 機能（ウィンドウ枠の透過表示など）を無効化します。
画面密度の最適化:	ホスト側で設定したズーム倍率が正しく反映されるようにします。



最適化機能が実際に適用されるかどうかは、ホスト側のオペレーティングシステムに依存します。

3.5.1.4 キーボードとマウス

「起動時に開く」設定を有効にすると、ホストへの接続後にゲスト用キーボードが自動的に開きます。通常、接続後の最初の操作として、ゲスト用キーボードを使ってログオンするなどの操作を行います。

「拡張キーボードを表示」設定（デフォルト設定）では、ゲスト端末のキーボード上部に追加のキー行が表示されます。これには、Shift、Ctrl、Alt、ファンクションキー（F1、F2 など）といった特殊キーボタンが含まれます。このキー列はスクロール可能で、例えば iPhone などの端末では、一度にすべてのキーを表示できない場合に便利です。この設定を無効にすると、iPhone/ iPad キーボードを開いた状態で、リモートデスクトップの表示領域を少し広げることができます。



フラグキーを 1 回押すと、次のキー入力またはマウスクリック時に自動的にフラグキーがリリースされます。これは[Ctrl]キーで示されます。例えば、ホストコンピューター上でリモート操作する際に Ctrl+C コマンドを実行する場合などに使用します。フラグキーを押したままにするには、フラグキーをダブルクリックします。再度フラグキーをクリックするまで押し続けられます。これは[[Ctrl]]キーで示されます。例えば、Excel シート上で複数のセルをリモート操作で選択する場合などに使用します。

3.5.1.5 圧縮設定

圧縮レベルを「高」「低」、または圧縮を一切行わないように設定できます。通常は自動設定のままにしておくことが最適です。これらの設定では、転送されるデータの圧縮率を決定します。圧縮レベルを高く設定するとCPUの負荷は増加しますが、転送するデータ量を削減できます。

3.5.1.6 推奨される暗号化方式

ホストアプリケーションの設定が最終的にどのレベルの暗号化が使用可能かを決定します。ただし、ゲストユーザーとしてご利用の場合、ご希望の暗号化レベルを指定することができます。ホストアプリケーションが許可している場合、その設定が優先されます。許可されていない場合は、ホストが許可している暗号化レベルが自動的に使用されます。

3.5.1.7 接続時のアクション

接続時のアクションとは、ホストアプリケーションと接続した際に自動的に実行される設定項目です。ただし、これらの動作は、ホスト側のセキュリティ設定がそのような動作をサポートしている場合に限り有効となります。

キーボードとマウスをロックする： ゲストユーザーが接続されている間、Windows ホストコンピューターのユーザーはキーボードとマウスを使用できなくなります。

空白を表示する： Windows ホスト PC/Mac の画面が非表示になり、デスクトップがそのモニターを見ている第三者から見えなくなります。

他のゲストを一時停止する： WiseMo 製品では、許可されている場合、複数のゲストユーザーが同一のホストに接続可能です。この設定により、ユーザーが接続している間は、他のゲストユーザーが接続できないように制御されます。

3.5.2 myCloud アカウント

myCloud の資格情報を入力し、その有効性を確認することができます。

(URL フィールドは変更しないでください)。

「起動時にログオンする」を選択すると、ゲストアプリを起動した際に自動的に myCloud ドメインにログオンされます。ただし、この機能を使用するには、ログオン時に資格情報が保存されている必要があります。二要素認証 (2FA) が有効になっている場合、ログオン時に検証コードの入力が求められますのでご注意ください。

「起動時に構成する」を選択すると、ゲストアプリ起動時にセットアップウィザードが起動します。

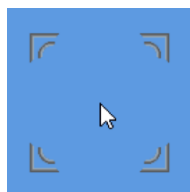
3.5.3 ローカルリソース

ゲスト端末とホスト端末間でクリップボードの内容を自動的に転送することが可能です。この機能を有効にする場合は、データの大量転送を誤って開始しないよう、上限を設定することをお勧めします。例えば、ホスト端末上でローカルにコピー/ペースト操作を行う場合などに注意が必要です。

3.5.4 バージョン情報

「バージョン情報」画面では、プログラムおよび端末自体に関する様々な情報を確認できます。バージョン情報、ライセンス情報、著作権表示などが含まれます。

3.5.5 マウス操作の説明



従来のマウスをリモートホストコンピュータ上で操作しているかのようにシミュレートするため、ゲストプログラムではマウスマーカーを使用します。

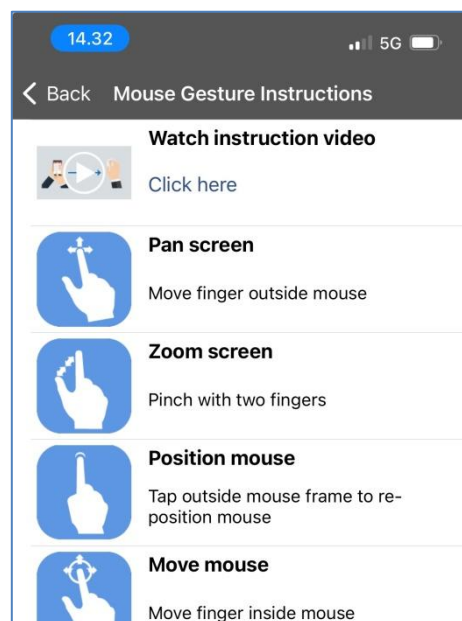
この機能はまた、リモート端末上でのマウス操作の位置指定や実行にも使用されます。

マーカーは4つの角で示された正方形の領域と、マウスポインターを表す中央のアイコンで構成されています。この中央のアイコンは、実際のホストコンピュータ上のマウスポインターの形状を正確に反映しています。なお、マーカーのサイズは操作性を考慮して調整可能です。

マウス操作の使用法ガイドをお読みいただき、左クリック・右クリック・垂直スクロールなどの操作や、その他の便利な機能をマーカーを使って行う方法をご確認いただけます。または、操作説明ビデオをご覧ください。

3.5.6 サポートログ

ゲスト端末とホスト端末間の低レベル通信を記録したログファイルを保存します。トラブルシューティング時に使用します。問題を報告する必要がある場合、**WiseMo** サポートチームからこのログファイルの作成を依頼され、当社へ送付していただく場合があります。お使いの端末にメールアドレスが設定されていること、およびサポート用ファイルが **WiseMo** サポートチーム宛てに送信されることを必ず確認してください。



4. ホストコンピューターまたは端末のリモートコントロール

ホストコンピューターまたは端末に接続すると、リモートデスクトップ画面またはその一部が端末の画面に表示されます。画面を2本の指でつまむように操作することで、表示範囲を簡単に調整できます。



端末上でマウス操作、またはサイズ変更可能な **WiseMo** マウスマーカーを使用して、リモートホスト端末の画面を操作できます（マウス操作の詳細については「オプション」タブ>「マウス操作の説明」を参照してください）。まずマウスマーカーを配置し、タップすることで、リモート端末上でクリック操作を実行できます。誤ってリモート端末で操作が行われるのを防ぐための操作手順です。マウスマーカーの外側をタップすると、マーカーはタップした位置に移動し、そこから操作を継続できます。タップ操作（マウスマーカーの内側）を行うことでマウス操作を実行できます。左クリック、右クリック、ダブルクリック、マウスボタンの長押しなどの操作方法については、「マウス操作の説明」をご覧ください。

また、コマンドメニューとボタンメニューも利用可能です。詳細は以下をご覧ください。

ツールバーボタン

上部のツールバーには様々なボタンが配置されています。一部のボタンはゲストアプリケーション上で直接機能しますが、他のボタンは接続先のホストタイプによって異なる特殊なボタンです。これらの特殊ボタンはリモートホスト側に送信され、リモートホスト上で実行されます。



このボタンを押すと、元のタブ表示画面に戻ります。この操作ではセッションは切断されません！



このボタンを押すと、セッションを切断し、ホストとの接続を終了します。



このボタンを押すと、マウス操作の説明を表示できます。



このボタンをクリックすると画面が表示され、リモートホストコンピューターや端末に特定のキー操作や組み合わせ（例：Windows PC で頻繁に必要な **Ctrl+Alt+Del** や、Android 端末でよく使われるホームボタンなど）を送信できます。



このボタンをクリックするとメニューが表示されます（上記の画像参照）。ホストコンピューター／端末の機能に応じて、各種機能を実行するためのコマンドを選択できます。メニューにはマーカーモードの起動、キーボード／マウスのロック、再起動、ホストコンピューターのロック／ログオフ、クリップボードの送受信、画面の消去（Windows/Mac）などの機能が含まれます。ホストコンピューターに複数のモニターが接続されている場合は、表示するモニターを選択したり、すべてのモニターを同時に表示することも可能です。



iPhone/iPad 上でゲスト用キーボードの表示／非表示を切り替えます



Windows コンピューターで使用できる特殊ボタンです。コンピューターのロックや、Windows 環境で頻繁に必要な **Ctrl+Alt+Del** キーの組み合わせ送信などの操作が可能です。



リモート接続先の **Android** ホスト端末で使用できる特殊ボタンです。スペースが許す場合、上部ツールバーに表示されます (iPad の場合)。

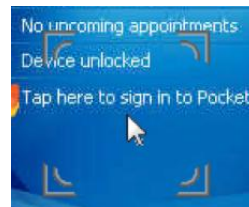


リモート接続先の **Windows Mobile/CE** ホスト端末で使用できる特殊ボタンです。スペースが許す場合、上部ツールバーに表示されます (iPad の場合)。

マウスマーカー

マウスマーカーは、**4** つの角で示された枠と中央のマウスカーソルで構成されています。枠の外側をタップするとマウスカーソルの位置を設定でき、枠内で指を動かすことで位置を調整できます。枠内でタップするとマウスクリックが実行されます。

ホストコンピューターのリモートデスクトップ操作時には、ゲスト側のマウスカーソルが動的に変化し、表示内容がリモートホストコンピューターの画面に表示される状態を反映します。以下に異なるマウスカーソルの例をいくつか示します：

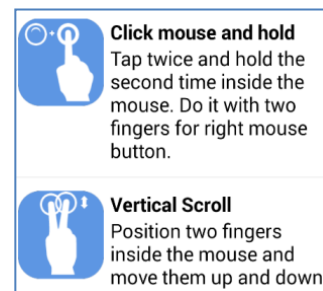
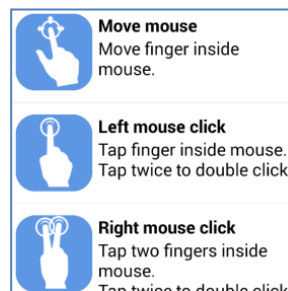
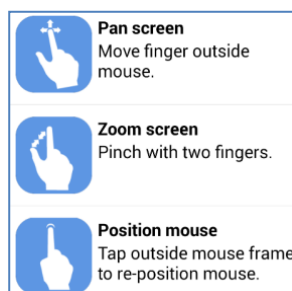


マウスポインターは簡単にサイズ変更が可能で、ご自身に最適なサイズに調整できます。**2** 本の指で枠をつまむようにして操作してください。

注意：通常、最初に位置設定のために **1** 回、次にリモートクリックを実行するためにもう **1** 回、合計 **2** 回タップする必要があります。この方法により、誤って端末画面上の別の場所に触れてしまい、意図しないマウスクリックがリモートコンピューター／端末で実行されてしまうのを防ぐことができます。

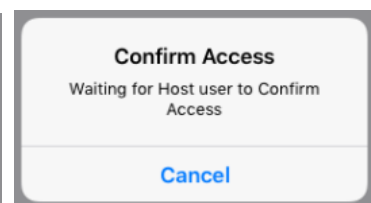
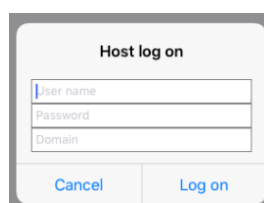
マウス操作

「ゲストオプション」タブから、利用可能なマウス操作の説明について確認できます。



ポップアップ画面

ホストコンピューターや端末に接続する際、ホスト側の設定によっては、パスワード資格情報を入力するか、ホスト側でアクセス許可または拒否を行う担当者の操作を待つ必要がある場合があります。



ホストが二要素認証（2FA）で保護されている場合、確認コードの入力も求められます。

複数のゲストから同じホストへの接続

ホストが許可している場合、複数のユーザーが **WiseMo** ゲストモジュールを使用して、同じホストに同時に接続できます。これにより、複数のユーザーが単一のリモートデスクトップ上で同時に操作状況を確認することが可能になります。

すべてのゲストユーザーは画面を閲覧できますが、ホストのキーボード/マウス/入力操作を同時に制御できるのは **1 人** のゲストユーザーのみです。最初に接続したゲストユーザーが最初に入力操作の権限を取得します。

任意のゲストユーザーは、マウスクリックなどの入力操作をホストに転送することで入力操作の権限を取得できます。この操作が行われると、『入力操作が割り当てられました』という通知が表示され、それ以降の入力操作はすべてホスト側で実行されます。入力操作の権限を持っていたゲストユーザーには、『ホストによって入力操作が取り消されました』という通知が届きます。

5. リンクの共有と招待リンク

送信された招待リンク（特定のホストから）または共有リンク（**myCloud** ウェブインターフェースから）を受け取った場合、そのリンクをホスト ID 入力欄に貼り付けてください（簡易接続タブ内に表示されます）。次に「接続」ボタンを押します。ゲストは **myCloud** を介して、リンクが作成されたホストに接続します——この際、あなたが **myCloud** ドメインにログオンしている必要はありません。この機能を利用するには、お使いのコンピュータがインターネットに接続されている必要があります。

6. ゲストアプリのアンインストール

端末上で通常の方法でゲストアプリをアンインストールしてください。例えば、端末上のゲストアイコンを長押しし、その後ゲストアイコンの「X」ボタンをタップします。

7. ゲストアプリのライセンス情報

iOS ゲストモジュール バージョン 20 には、サポート対象のすべての iPhone または iPad 端末で永続的に利用できる無料のライセンスが付属しています。

ゲストモジュールから、正規ライセンスを取得した **WiseMo** ホストモジュールに接続することができます。

8. 用語解説

コンピューター – ゲストモジュールまたはホストモジュールがサポートするオペレーティングシステムを実行するあらゆるサーバー、ワークステーション、デスクトップ PC、ノート PC を指します。

端末 – ゲストモジュールまたはホストモジュールがサポートするオペレーティングシステムを実行するスマートフォン、タブレット、セットトップボックス、スキャナー、その他の携帯型または無人操作端末を指します。

ゲスト – ゲストモジュールがインストールされたコンピューターまたは端末（例：PC、iPad、iPhone、Android 端末、または対応ブラウザから起動する場合）。ゲストモジュールを使用することで、ユーザーはホストモジュールが動作している別の端末やコンピューターを遠隔操作することが可能です。

ホスト – ゲストモジュールから遠隔操作される対象のコンピューターまたは端末にインストールされるモジュールです。具体的には PC、Mac、スマートフォン、タブレット、セットトップボックスなど、対応オペレーティングシステムを実行するあらゆる種類の端末が該当します。

ホスト構成マネージャー – 別名「ホストマネージャー」または「**Mobile** ホストマネージャー」。WiseMo ホストアプリケーションの設定に使用するツールです。Windows デスクトップコンピューターにインストールされ、端末を PC の USB ポートに接続した際にホストサービスまたは端末と通信を行います。

スキン – 端末のリモート制御を行うためのグラフィカルユーザーインターフェースで、Windows デスクトップコンピューターから操作する場合に使用します。通常、このインターフェースは操作対象の実際の端末とほぼ完全に一致するグラフィック表示となっています。スキン上のボタンは「生きている」状態で、実際のボタンと同じ操作を模倣します。つまり、スキン上のボタンのいずれかをクリックすると、実際の端末上で同じ操作が実行されるのです。

通信プロファイル – ゲストモジュールとホストモジュール間の通信に使用するプロトコル設定です。主な通信方式として次の 2 種類があります：TCP/IP 方式と myCloud 方式です。ゲストからホストへ接続する前に、使用する通信プロファイルをゲスト側で指定する必要があります。

myCloud – 通信プロファイルの一種です。myCloud 通信はインターネットベースのプロトコルで、ファイアウォールやプロキシ、NAT 設定されたネットワークを介した接続を可能にします。これは WiseMo 社の myCloud サブスクリプションベースサービスの一部として提供されており、コンピューターや端末間のリモートコントロール接続を容易にします。

mDAC – myCloud デバイスアクセス制御機能です。どのユーザーがどのコンピューターや端末で何を実行できるかを一元的に定義・管理します。